

民間企業との共創の取組

SDGsにおける「17の目標」



民間企業との共創の取組

主な流れ

1 旭区が目指すSDGs 未来都市

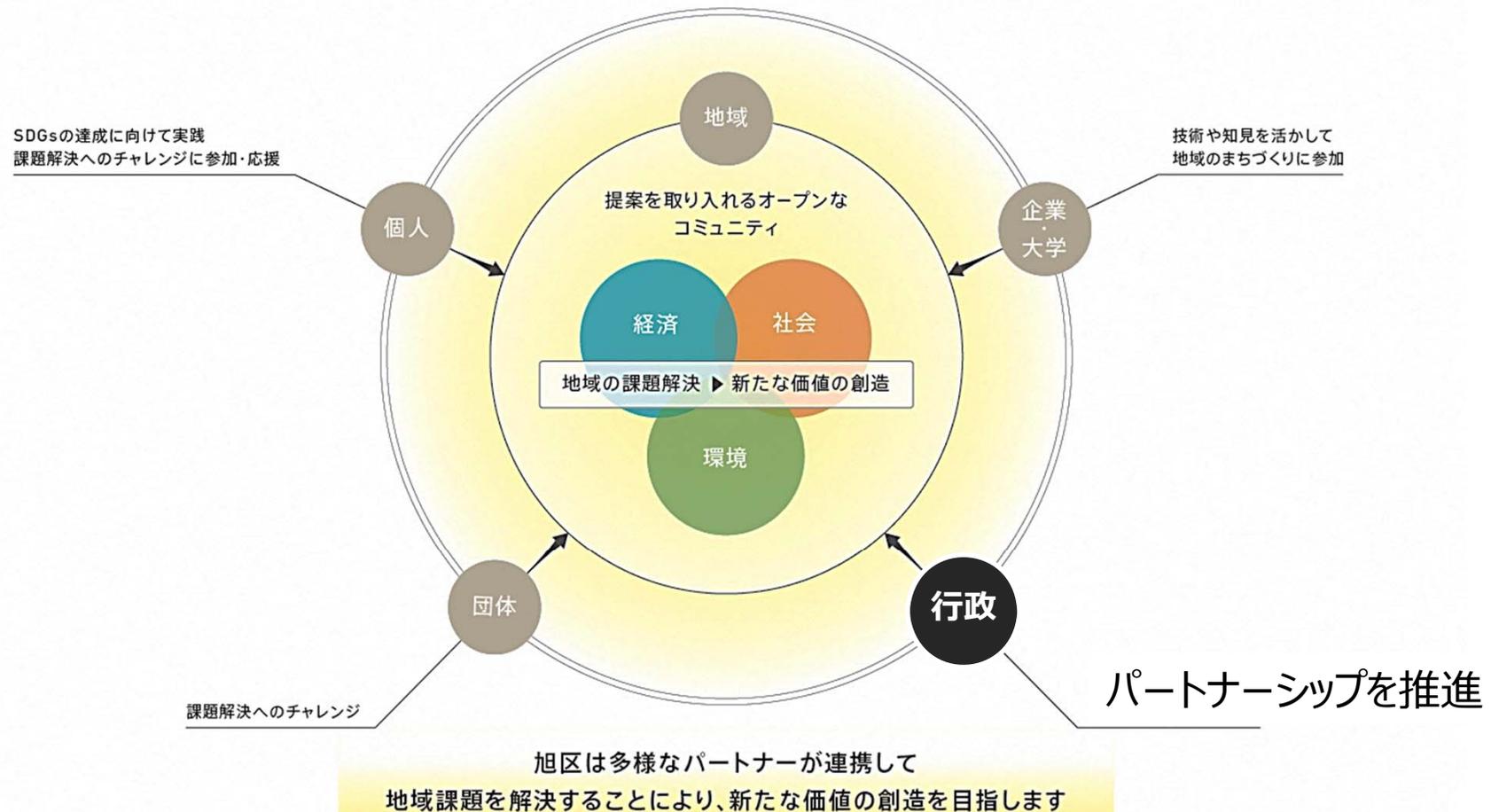
2 旭区の大規模団地再生

3 SDGs 若葉台フロントとは

4 買取再販事業を活用した子育て世帯の流入促進

1 旭区が目指すSDGs未来都市

横浜市は、2018年に国から「SDGs未来都市」として選定されました。旭区は、その郊外部のモデルを目指しています。



旭区SDGs特設サイト：Partnershipで創る未来 ～SDGs未来都市横浜 旭区の挑戦～
<https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/shokai/SDGs/asahi-x-sdgs.html>

SDGsの視点を取り入れた未来志向のまちづくり

Transforming our World

【数々の世界を変革する】環境合意文書のタイトル

未来に挑戦するあさひ

旭区では、地域が様々なパートナーと連携し、SDGsの理念である
[No one will be left behind]につながる変革にチャレンジしています。

この紙面では、人口減少や高齢化に伴う、医療・介護・生活支援のニーズの増大など様々な課題に対し、地域とともにチャレンジする人たちの、ヨコハマSDGsデザインセンターの協力により「SDGs未来都市・横浜」の視点でクロスアップしました。

Technology
【技術×変革】

まちづくりへの想いの強いこの地域で未来を具現化していきたい

写真は4月開催中の「SDGs未来都市」第100回発表会

Creation
【創造×変革】

生まれ育ったこの場所に自分ができるアートで貢献したい

在留活動が活発な地域に、広縁や商店街を舞台として、さらに多様な人たちの関わりを作りたい。そこには、アートも触媒に地域の力をエンパワーメントしたいという新たな観点を強い思いがあった。

Education
【教育×変革】

地域がグローバルにつながっていく、その中で子どもを育てたい

県立高等学校のSDGs教育が生まれるアフリカやアジアとの交流の中に、ともに子どもを育て、ともに地球規模で学んでいく新しい住宅地の可能性があった。

写真・テクノロジーデザイン株式会社
ソフトバンク株式会社と共同で地域活性化が目的とした「e2iリサーチ」を組織して人々の暮らしを応援する「e2i」として社会貢献の取り組みを推進するテクノロジー企業。

タンバスクープ・デザイナー 齊藤実生
デザイン集団「タンバスクープ」のメンバー。ジュネセルズ（横浜市 THE GARDEN、宮崎山手）のメンバーとして、グッドデザイン賞などの受賞歴あり。

県立高等学校
県立グループの学校法人グループにより運営される高等学校。さまざまなニーズに対応する多様な人材を育成し、社会の発展に貢献したユニークな教育を実施中。

SDGs (エス・ディ・ジーズ) (Sustainable Development Goals)の略称は世界共通の目標

地球規模で人々も、資本が関与するグローバル経済の下では、一国的政策が限りに達成されるのと同時に、地域経済の発展もグローバルに波及し、政治経済や社会問題にも波及して深刻な影響を及ぼす時代になってきています。このような状況を踏まえ、世界全体の経済・社会・環境の均衡を不均衡に修正する取り組みとして、持続可能な開発目標 (SDGs)が2015年9月に国連で採択されました。横浜市は、2018年8月に環境プロジェクト「SDGs 未来都市」の選定を受け、環境・文化・芸術による新たな価値・魅力を生み出し続ける都市の実現を目指しています。

旭区誕生50周年 未来に挑戦するあさひ 発行：横浜市旭区 協力：ヨコハマSDGsデザインセンター 2019年10月18日

地域課題に対して住民が自主的に行っている地域活動も、SDGsに繋がっています。

住民だけで解決できない課題に企業や団体などの参画を促し、パートナーシップで対応することを目指しています。

具体的には、

- ・オープンデータの活用支援
- ・地域活動に対する補助金
- ・企業による実証実験の誘致
- ・取組のPR

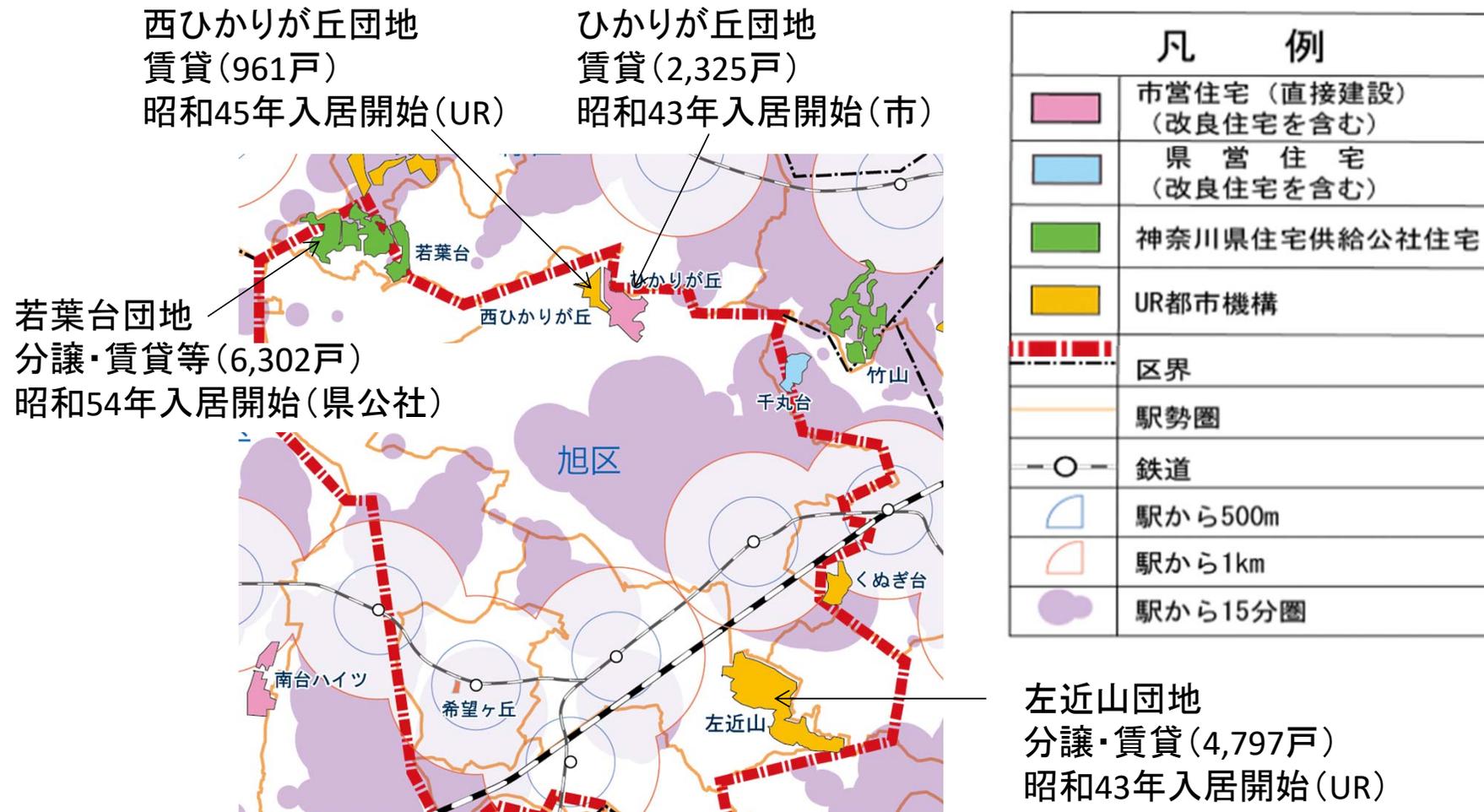
など

← 旭区誕生50周年記念タブロイド紙

<https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/shokai/SDGs/asahi-x-sdgs.html#C1610>

2 旭区の大規模団地

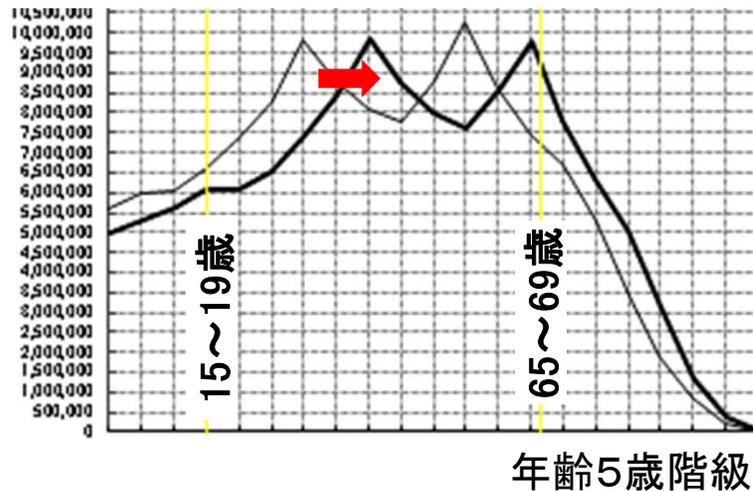
旭区には、4つの大規模団地（若葉台団地、左近山団地、ひかりが丘団地、西ひかりが丘団地）があり、いずれも最寄り駅まで15分以上かかる交通移動が不便な地域に位置しています。



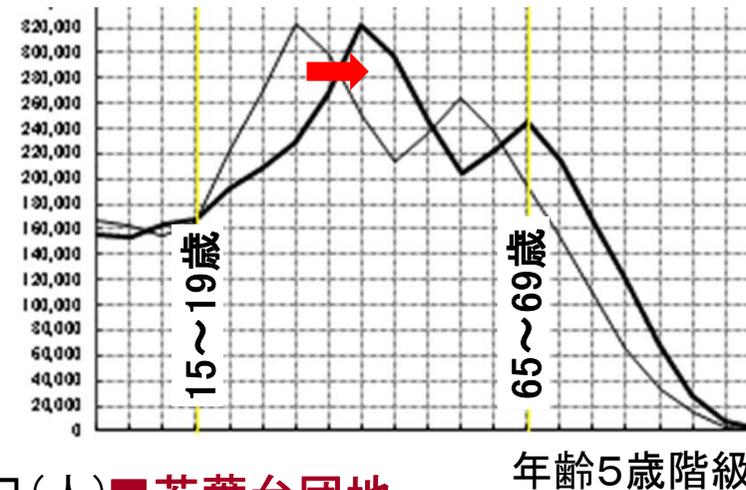
課題：人口減少 超高齢化

全国、横浜市と比べ、
65歳以上の層の比率が高く、人口減少が進んでいます。

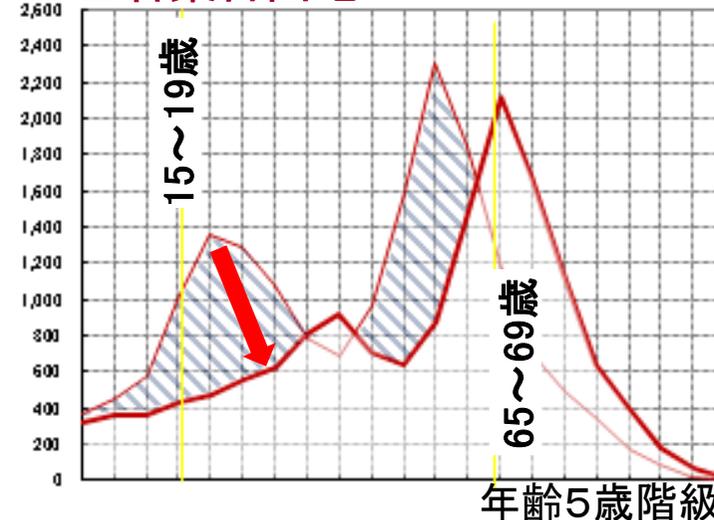
人口(人) ■ 全国



人口(人) ■ 横浜市



人口(人) ■ 若葉台団地



年齢5歳階級別人口の推移
(2005→2015年)

大規模団地再生事業(2017~2022年度)

取組を「地域と企業、行政等が連携するまちづくり」と位置付け、まちの将来像と取組の方向性をまとめ関係者と共有しながら連携を強化してきました。

地域コミュニティの維持・強化、人口減少・超高齢社会への挑戦を目的とし、地域主体の団地再生が継続できる仕組みづくりを目指しています。

ソフト再生ビジョンの策定・共有・具体化

●現在の住民生活の維持

●子育て世代や多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと」づくり

- ・子どもをテーマとした未来志向の取組の実践
- ・交通アクセスや利便性など、まちの価値の向上

●SDGsの視点を導入し様々なパートナーシップで複合課題にチャレンジ

●活動の組織化・連携促進

●公有地を活用したハード再生の試行・実践

将来的なステップ

●地域主体のハード再生ビジョンづくり

将来的なステップ

●所有者による大規模改修・減築・建替え

まちの
将来像

② ①
団地
の
拠点
性の
維持
継続

SDGs未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業

https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/danchi-2025.html

SDGs若葉台フロントとは

開発者・管理者・行政のチームが企業や大学等の提案を受け付ける
公民連携のための総合窓口です。

多様なパートナーシップによる新たなまちづくりを推進しています。



これまでにかかわった事例

<p>オンデマンドバス 実証実験</p>	<p>一般財団法人若葉台まちづくりセンターが事業主体となり、ヨコハマSDGsデザインセンターと連携し、MONET Technologies株式会社の配車プラットフォームを活用し有料サービス化を検討。</p>	 <p>実証実験を計4回実施</p>
<p>IoT宅配システム 実証実験</p>	<p>I・TOP横浜の一環で市と京セラが協働し、宅配ボックスをIoT化することで非対面での受け取りを可能にする実証実験。宅配ボックスメーカーの白山機工や佐川急便等が参画。</p>	
<p>モビリティと連携 したまちづくり</p>	<p>横浜国立大学が参画し平成30年11月に協定締結。コミュニティバスわかば号（若葉台まちづくりセンターが無料運行）や路線バスの位置が分かるアプリの配信開始。</p>	
<p>映画「ドンテナウン」の ロケ地誘致</p>	<p>横浜フィルムコミッションと連携し撮影協力。作品は音楽×映画の祭典「ミュージックラボ2019」準グランプリを受賞。監督：井上康平氏、音楽提供：菅原慎一氏（シャムキャッツ）</p>	 <p>映画のワンシーン</p>

取組の先に見据える未来都市

2019年から実施されているオンデマンドバスの実証実験は、ソフトバンク株式会社とトヨタ自動車株式会社が設立したテクノロジー会社の技術を活用しています。彼らが最新技術を活用したまちづくりの先に見据えるのは全く新しいライフスタイルです。

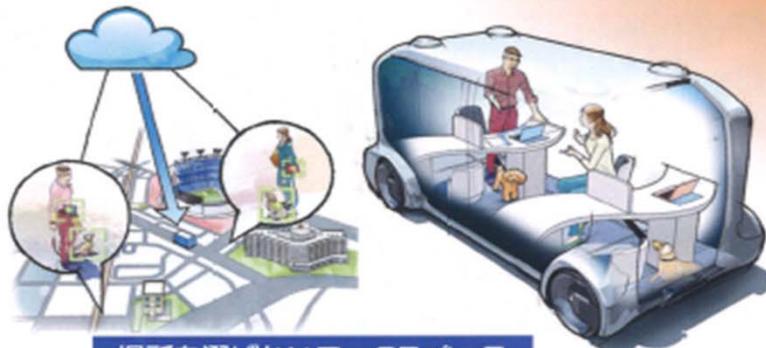


コンビニが家の前にやってくる



調理ロボが出来立てをお届け

最先端の技術が実現する
未来のライフスタイル



場所を選ばないワークスペース



診察前検診を受けながら病院へ

フロントの事業戦略(アクションプラン)2020

<地域だけでは解決できない5つのテーマ>

商店街
の活性化

子育て世帯
の流入促進

ヒト・モノ・
サービスの**移動**

**多世代の
見守り**

魅力の**発信**

+ 全てに
環境
の視点を

<3つのプロジェクト>

地域移動プロジェクト



生活支援プロジェクト



住宅流通プロジェクト



戦略1【プロジェクトの強化】

プロジェクトに更なる企業・団体が参加

戦略2【プロジェクトの持続化】

住民や企業など事業参加者のメリットの明確化

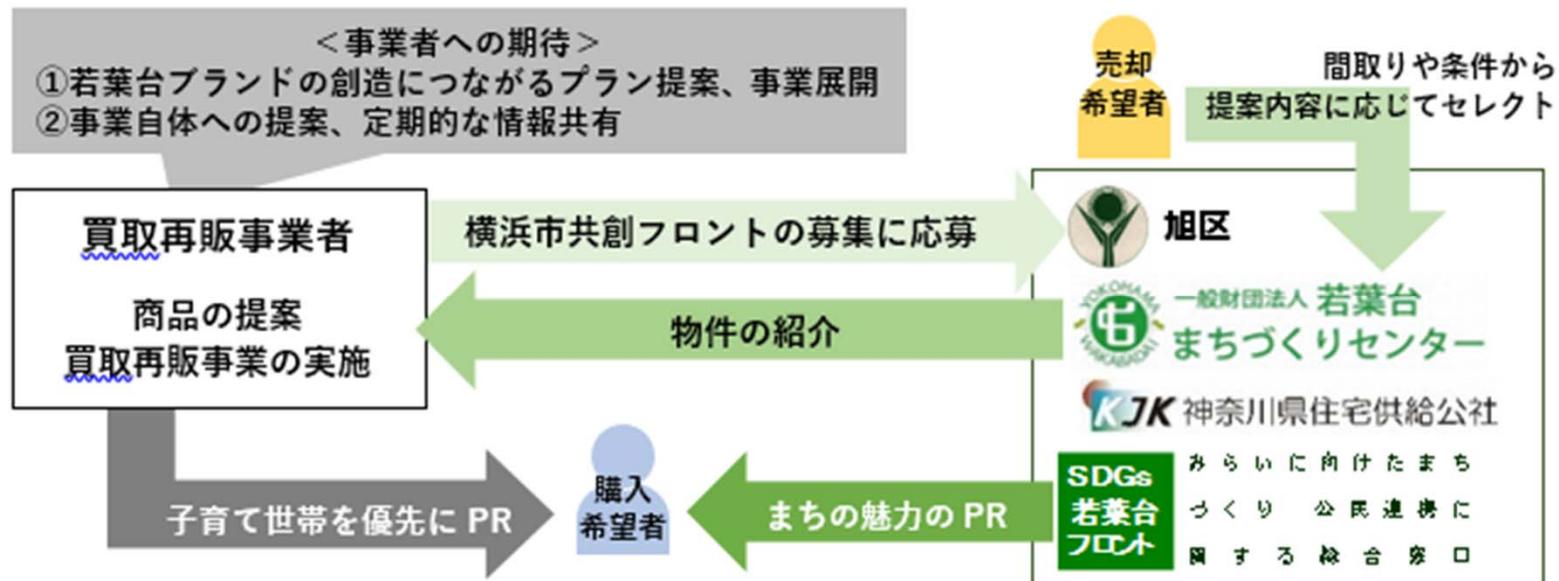
戦略3【フロントの機能強化】

コンシェルジュ機能、拠点機能、情報発信など

SDGsの視点を取り入れ、多様な人や企業に選ばれ続ける未来志向のまち

4 買取再販事業を活用した子育て世帯の流入促進

テーマ	①子育て、②おうち時間の充実、③新しい働き方、④その他
提案の視点 想定する住まいのターゲット	<p>このまちだからこそ実現できる「都心の新築マンションでは手に入らない住環境」や「住まいだけでなく子どもの教育や自身の趣味などバランスの良い投資により実現するライフスタイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国でも珍しいまちぐるみで子育てをする「こども宣言」を行い、文化やスポーツの活動や施設が豊富、緑豊かで安全なまちで、子育てを楽しみたい方 ・季節ごとのイベントが充実し、母親ライングループやおやじの会等のコミュニティ活動が盛んなまちで、自分に合った繋がりを求めたい方 ・住民主導でまちづくりを進め新たな取組を受け入れるオープンマインドなまちで、自身のスキルを活かし活動のチャンスを得たい方



提案方法について

買取再販事業者の提案募集

応募者の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買取再販事業者で、子育て世帯を優先に商品をPRする意思があること ・ 区役所が行うアンケートなどに協力し、情報共有する意思があること
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> ①提案概要（法人概要、200文字以内の提案概要） ②提案内容（リノベーションの企画書） ③買取の条件（間取り、金額等） ④Web公開用の載するイメージ写真とキャプション
参考資料	<ol style="list-style-type: none"> ①募集の詳細（PDF：936KB） ②子育て世帯にとってのまちの魅力（PDF：2,473KB） 関連ページ（横浜市テーマ型共創フロント） 関連ページ（公民連携に関するSDGs若葉台フロント） 関連ページ（若葉台団地の特徴）

その他の提案募集

- ・ 買取再販事業者や住宅の売主、買主等を支援するようなご提案など、その他の事項についても募集します。
- ・ ホームページや資料の記載内容に対しても変更のご提案を募集します。

これまでに受けたご提案

協力事業者からの提案のご紹介

事業者名・テーマ・提案概要	イメージ写真
<p>【事業者名】 株式会社マイブレイス 【URL】 https://www.my-place.jp/ (外部サイト) 【テーマ】 ①子育て②おうち時間の充実③新しい働き方 【提案概要】 中古物件を買い取り、“「子と住む」をもっと楽しく”をコンセプトとし、子育て世代をターゲットとした「住まいの工夫」を取り入れたリノベーションシリーズ「cotosumu (コトスム)」を展開いたします。新たな価値を付加した住戸の流通を通して、子育て世代の流入促進に寄与します。また販促においては「若葉台団地でどのような暮らしができるのか」という視点を盛り込み、販売物件だけでなく団地の魅力も伝えます。</p>	 <p>(左) リビング学習ができるスタディデスク (右) キッズクローゼット</p>
<p>【事業者名】 ソラスプランニング株式会社 【URL】 https://solasplan.co.jp/ (外部サイト) 【テーマ】 ④その他 【提案概要】 子育て世代の流入促進を目的とした買取再販事業が実施されるにあたって、魅力的な住戸の販売と併せ、若葉台団地で暮らすことの価値認識を高める活動(=ブランディング)が必要だと考えます。若葉台団地独自の価値を整理し、ターゲットを明確化した上で、SNS や Web 活用や、「体験入居室」といった既存リソースの更なる活用などの具体的施策をご提案いたします。提案にあたっては継続可能な体制の構築を重視いたします。</p>	 <p>2021年2月16日</p> <p>若葉台団地 子育て世帯の流入促進のための ブランディング・コンサルティングに関するご提案</p> <p>ソラスプランニング株式会社 SOLAS Planning</p> <p>ブランディング・コンサルティング</p>

買取再販事業を活用した子育て世帯の流入促進 協力事業者の募集
https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/w-danchisaiseijigyo.html